

# Upholding the Past

シュトゥットガルト日本人会会報

## 8

### 行事予定 2019年 夏-秋

6月23日(日) バーベキュー 懇親会

7月7日(日) JCS夏祭り

- 恒例写真コンテストに関しては裏表紙をご覧ください
- 詳細はメール配信にてお知らせいたします

### 9月 映画会予定

11月15日(金) 法人セミナー

講師 金子秀彦 領事

Foto by Japan Club Stuttgart

感想 池田 英明



私たちの生活には、普段からあらゆる税金が発生し、毎月の給与から引かれている所得税もそのひとつだ。しかし、ここ異国の地ドイツで働き、忙しい日々を追われ、その基本的な仕組み・情報を十分に理解できずに過ごしている方も多いのではないか。日本の所得税であれば、インターネットで自分で調べ、ある程度理解するなど方法はあるが、ドイツの所得税についてドイツ語で調べて理解するとなると、なおさら難しく、躊躇してしまう。

そんな折に、シュトゥットガルト日本人会より「所得税・給与計算の基礎」をテーマとした勉強会の知らせを頂いた。ドイツ税理士である花岡先生より、基礎から解りやすく講義頂き、所得税に対して気を付けるべき点を、プロの視点からのアドバイスを交えて理解を深めていくという趣旨だ。対象者は雇

用者（給与を支払う側）と被雇用者（給与を受け取る側）であり、私は被雇用者の観点から参加し、シュトゥットガルト界隈の様々な企業から、全体で20名程が出席した。

勉強会の内容は、大きく別けて3つのパートで構成されていた。最初に基礎的な知識の理解、2番目に給与明細（ペイロール）の例を用いたケーススタディ、最後に所得税確定申告についてだ。基礎の部分では、源泉徴収開始のタイミング・雇用主が負担する社会保険・家庭環境に応じた税クラスなど、恥ずかしながら理解していたつもりでも、素人目線で曖昧にしていた点が、花岡先生の丁寧な説明により、とてもシンプルに知識として身につけることができた。ケーススタディでは、駐在者のネット（手取り）給与を保証するために、想像をはるかに超えた額面を雇用主（会

社）が支払っていることに驚きを隠せなかった。確定申告のプロセスについては、期日やスケジュールについて気を付けるべき点、税務署に異議申し立てをする際のポイント、実際の申請書を用いた記入例と、今後の確定申告の申請に対して役に立つ話を頂けた。

勉強会後の交流会は、シュトゥットガルト日本人会から手作りの日本食を頂きつつ、参加者との名刺交換の場となった。普段関わりのある友人や会社の同僚とは違った新しい交友関係を築くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができた。今後も勉強会の場があればぜひ参加し、自分の見識をより深めていきたい。貴重な機会を作って頂いた、シュトゥットガルト日本人会および花岡先生に感謝申し上げる。



# Report

遠足

福光慶子



日本人会に入会して数年ですが、遠足には初めての参加で、参加を決めた時から、この日をとても楽しみにしていました。朝早い集合でしたので、バスの中ではゆっくり寝ようと思っていたのですが、座った席の周りの方たちとの会話が弾み、3時間半の道のりはあっという間でした。

まず向かったのは、バーゼル近郊のリーエンにある、バイエラー ファウンデーション。スポーツばかりしてきた私にとって、全く持って無知な芸術作品に触れるのはとても新鮮で、いつも刺激を受けます。私たちが訪問した期間に展示されていたのが、そんな私でも名前は知っている、ピカソの、青と赤の時代の作品でした。私がかつて、カラフルで、自分にも描けてしまうのではないかと想像する様な、どこか非現実的な彼の作品とは違い、いえ単に私にピカソの基礎知識が無さ過ぎたのですが...、とても

人間味のある、そして不思議と見入ってしまうような作品が多く、とても驚きました。

お昼の時間が近づき、次に向かったのは、ドイツに入ってすぐのヴァイル・アム・ラインにある、ヴィトラ・デザイン・ミュージアム。到着してすぐ、各々昼食をとることになり、思い思いの場所に散ったのですが、さすがヴィトラ。敷地内の至る所に、様々なデザインの椅子が置いてあり、座る場所を探すというだけでさえも楽しかったのです。友人とお弁当を持ち寄り、遠足と言えば！のお握りや唐揚げ、卵焼きなど、ザ・日本なお弁当をお腹いっぱい食べました。日本にいればコンビニで何でも買える時代に、早起きして楽しいお昼の時間を想像しながら作ったお弁当は格別で、これぞ遠足の醍醐味ですね。

お腹いっぱいになったところで、無料で入れるショールームに入り、展示して

あったありとあらゆる椅子に、私には到底買えそうにない値段の椅子に、奇抜なデザインの椅子に、とにかく座りまくり、偉そうに座り心地の感想を述べて、その時間を楽しみました。また、最上階からの眺めは最高で、そこに置いてあったソファに座り、友人とお喋りの時間を楽しむことができました。雨が降ったり止んだりな天気だったのですが、ここに滞在している間は天候にも恵まれ、気に入った椅子に座り、外でゆっくりと残りの時間を過ごし、帰路につきました。

初めての参加でしたが、いろいろな方とお話しすることが出来、また、ゆっくりと過ごす

ことのできる時間もあり、とても楽しい遠足になりました。

企画、運営してくださった日本人会の皆様、ありがとうございました。



Fotos by Japanclub Stuttgart



## Club

## Intial O

シュットガルト近郊で、レンタルカートを楽しむグループです。

現在は、毎月1回を目標として、アンケートにて参加者の多い（諸事情により）月曜日の夜、19:00以降に練習／レースを行っています。

“興味はあるけど、1人じゃちょっと、”という初心者の方から、“何人たりとも俺の前は走らせねえ”という経験者の方まで、一緒に走りましょう。

また、1度見てみたいという方、カメラマンをやってくれるという奇特な方もお待ちしております。

「有志による、自由発信型」としたいので、Facebookにて運営管理と情報共有を行っています。

お手数ですが、入会希望の方はQRコードにてアクセスお願いいたします。

本郷



## Report

『こども無限 (∞) 感ばにー』

石巻市黄金浜 ちびっ子遊び場

魚住恒子

昨年完成した防波堤の左側に、第二堤防建設中



『こども無限 (∞) 感ばにー』が管理する黄金浜 (こがねはま) のちびっ子遊び場に、これまで何度か訪問したことは毎年のレポートとしてお伝えしてきました。それにしても黄金浜という地名はなんとも豊かな響があります。連想して思い出されるのが金華山沖という石巻市沖合の漁場で海の暖流と寒流がぶつかり合うこの海域は世界の三大漁場に数えられています。昨年のレポートで、海岸線の位置はどんどん変わっていくことに触れました。現在の黄金浜も海から約 800 m 離れていますが、過去の時代にここが直接海につながる浜だったかもしれないと十分想像できます。その浜が獲れた魚で埋まり、黄金色に輝いている光景もあったことでしょう。さて6月のある日曜日にふらっとちびっ子遊び場を訪れてみました。お昼時だったので数人の子どもたちと草刈りする代表のケロさん、プレイワーカーのロッキー君がちょっと夏らしい日差しの中に点在していました。そのうちにご飯を食べたい子どもたち二人が竈の前に座りました。あるのはお米、古そうなジャガイモだけです。するとそうなることを知っていたかのように、なんだかこの遊び場の先輩株のようなおねいさん、おに

いさんたちが数人それぞれソーセージやお肉を持ってやってきました。ここでご飯を作りたい人はなにか1品持ち寄りという事になっているそうです。竈の前の二人はご飯を炊き始め、ロッキー君のアイデアでジャガイモはフライドポテトに料理されることになり、みなでおしゃべりしながらジャガイモの皮むきが始まりました。ケロさんは会議があるといなくなってしまうかもしれませんがケロさんの知り合いですという女性が農産物、大きなサラダ菜やインゲン豆の差し入れにきました。台所仕事は急に忙しく本格的になってきました。私がほんの1時間ほどお邪魔している間の光景でした。集まってくる子供たち、差し入れに立ち寄る近所の人、プレイワーカーというこの遊び場に居て、子供たちと一緒に何かをする人、という私の目の前で動き回る登場人物たちは、誰が主導権を握っているということもなく、今日もおいしいご飯が出来上が

るのだろうかあという感じを作り出していました。言い換えればこの遊び場にすっかりみんなが慣れ親しんでいるという感じです。もうここは震災で遊び場をなくした子ども達の・・・という形容詞が取れて、地域住民の場所という感じがです。黄金浜という場所の一角として、『こども無限 (∞) 感ばにー』のケロさんは、そのような子供から大人まで集える場所を希望があれば他の地域にも作っていききたいという事です。

さてこれまで私のヘタなレポートと『こどばにー』からお借りした写真によって、この遊び場や主催者の意識を紹介してきましたが、今年7月7日の夏祭りの会場で、黄金浜のちびっ子遊び場の様子を通信中継で覗いてみようという計画が進行しています。夏祭りが開場したらすぐの11時から約20分ほど中継の予定です。それに先立ち、『こどばにー』制作の動画を興味ある方は是非ご覧ください。

YouTube で 次のタイトルを探してください

『こどもみらいず』 / NPO 法人 こどもむげん感ばにー

<https://www.youtube.com/watch?v=su2OBlvuV08&feature=youtu.be>

『みんな、おいでー』 / 石巻市で唯一の常設プレーパーク

<https://www.youtube.com/watch?v=L84DCd0OUEk&t=11s>



Pfotos by Japan Club Stuttgart

やるね～

シュトゥットガルトの若いもん！！

その17 菊池 優子

インタビューまとめ



**マイセンポーセランをほとんどの方はご存知と思いますが、今回登場の菊池さんは自らその絵付け技術を習ったのだそうです**

▶まず出身地から伺います。

引越しが多かったので出身地と聞かれると覚えてしまいますが、幼い頃は日本とアメリカ(NY,LA)を行ったり来たりし、日本では東京、神奈川に住んでいました。横浜が一番長く住んだ場所です。

▶それはどのようなレッスンでしたか

毎日彼のアトリエへ通い、朝から夕方まで集中レッスンを受けました。教えていただいたことに感銘を受け、絵の具や筆を持ち帰り、夜も週末も練習を繰り返す日々でした。ガイスラー氏からは絵の構図やテクニックだけではなく、道具に関する姿勢、選び方なども学びました。また、金彩に関しては別のテクニックが必要になるので、元フルステンプルクの絵付け師であったマーガレット・ピッツェラー女史にも専門的に習うことができました。

▶日本に戻ってからも絵付けを続けられたのですね

必要な道具を揃え、窯も用意して自分で焼成できるようにアトリエを作りました。2年後に東京・表参道で初めての個展を開催しました。

▶どのような作品を描かれているのですか。

ドイツで西洋の絵付けを習いましたが、日本人として日本の伝統的な美しさも伝えたいという思いから、和と洋を融合したデザインにし

▶卒業後ポッシュジャパンでお仕事を始めたのですが、本社ドイツで働くことになったのは？

ポッシュジャパンでは財務管理部、経営企画部を経験させていただきました。その後本社での仕事の経験を希望し、5年程前に駐在で本社勤務となりました。今は現地採用となり、経理部門に所属して新しい会計締めコンセプトとツールを世界各国のポッシュ子会社へ導入するというプロジェクトに携わっています。

▶絵付の活動はこちらに来てから始まりましたか？

絵付けは約11年前、日本にいた時に始めました。きっかけはさらに遡り、ロンドンのア

ンティークマーケットで「リモージュボックス」というフランスの可愛い手書きの磁器製品に出会い、魅せられたことです。その後絵付けを習うことができると知り、お教室に参加しました。参加した直後に、本格的に習いたい、という願望が生まれ、マイセン磁器の絵付け師だった故ウヴェ・ガイスラー氏にコンタクトしました。図らずも偶然、ガイスラー氏は翌週に日本でのセミナーを控えており、直接お会いしてお話をする機会をいただき、私の熱意を伝えました。本当に多忙な方でしたが、ドイツのアトリエで個人集中レッスンをするという形で希望を叶えてくださることになりました。当時はポッシュ本社に勤務することになるとは全然考えていなかった頃です。

ています。西洋では、整然として精密な、秩序や完全性を追求するデザインやモチーフが美しいと思います。一方で、季節やその時々を大切に、他者と寄り添いながら感謝して愛でる日本の文化では、全体的な調和や微妙なニュアンスを伝えられる美しさがあり、そのような日本の繊細な美の感覚を大事にしたいと思っています。

▶絵付活動は仕事の両立は

ドイツへ来た当初は新しい仕事と生活に慣れることに精一杯であり絵付けはできませんでした。今は両方の仕事が私の生活で良いバランスを維持するのにとても大事で、と同時に限られた時間の中で逆に集中して取り組んでいます。また、両立できているのは他にもなく、会社の上司や同僚が理解して応援してくださっているおかげです。始めた当初から応援してくれている日本にいる家族や親しい友人も大きな支えです。また、ドイツでの新しいご縁で出会った友人達にも沢山サポートしてもらっています。今年のパリ、今年シュトゥットガルトでの展示会も周りの皆さんのサポー

トなしには実現しませんでした。

▶今後はどのような活動を考えていますか。

シュトゥットガルトではThe English Tearoomで毎年一回展示会を行うことになり、少しだけ作品も常設されています。絵付けレッスンも引き続き開催していきます。お教室で出会う生徒さん、展示会でのお客様との出会いはドイツでの嬉しいご縁です。

▶絵付け以外にやりたいことはありますか。

昔からスポーツも好きなので今は自分で体力作り程度に体を動かしていますが、最近ではテコンドーか合気道を習ってみたいと思っています。

**二つの仕事を異国でこなす菊池さん、とてもたくましいですね。日本人会の行事の際、彼女を見かけたら、気軽に話しかけてくださいね。**